

IV. 日頃の教育・訓練（OJT）に必要な資料集

教育・訓練計画表

承認	確認	作成
年 月 日	年 月 日	年 月 日

No.	教育区分	目的・内容等	講師/リーダー	対象者	教 材	年度実施スケジュール											
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	

計画は、白丸と可能な場合は日付も記入
教育訓練実施後、黒丸と実施日を記入

例：○ 4/1
例：● 4/5

教育・訓練計画表

承認	確認	作成
年 月 日	年 月 日	年 月 日

No.	教育区分	目的・内容等	講師/リーダー	対象者	教 材	年度実施スケジュール											
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	安全教育	年度当初及び新人の移動着任時、業務は教育終了後	自衛消防隊長	全員	安全教育テキスト	○4/7 ●4/23							●10/3新人1名				
2	防災・安全ミーティング	毎月第2月曜日に実施	工場長	全員	—												
3	KYミーティング	毎週火曜日午後3時から実施 (別途作業にKYKを含むツールボックスミーティングを行う)	班長持ち回り	全員	—												
4	非常事態訓練 (コンベヤ火災)	出火場所は、訓練開始時に示す。	工場長	中央制御室、 消火班、設備班	コンベヤ火災 対応手順書		○5/8										
5	防災訓練	消防署の立会いの下、実施	工場長	全員	防災訓練次第 (都度作成)							○10/3					
6	非常事態訓練 (ピット火災)	防災訓練に続いて実施する	工場長	全員	ピット火災対応 手順書							○10/3					
7	施設案内/避難誘導訓練	施設見学受け入れ前に実施	避難誘導班長	避難誘導班	避難誘導手順書	○4/15 ●4/15											
8	予告なし緊急事態訓練	工場長計画に基づき、本年度1-2回実施する	工場長	全員	—												
9																	

計画は、白丸と可能な場合は日付も記入
教育訓練実施後、黒丸と実施日を記入

例：○ 4/1
例：● 4/5

教育・訓練記録

施設/工場名： _____

承認	確認	作成
年 月 日	年 月 日	年 月 日

教育訓練区分	☐ 資格者 ☐ 新人 ☐ リーダー			
教育訓練の種類	☐ 内部研修（ ☐ 座学 ☐ 実地訓練） ☐ 外部研修（ ☐ 座学 ☐ 実地訓練）			
教育訓練の内容				
教 材				
実施日時				
実施場所				
受講対象部門				
講 師				
受 講 者				
欠 席 者				
欠席者への処置 （追加研修等）	処置内容			
	実施日			
講師による総評 （研修内容の理解度等）	※受講者の理解度、教育中の質疑応答内容、教育内容（方法）の改善点等を記述する			
手順書等の変更の 必要性	否／要（要の詳細： _____ ）			

緊急事態教育訓練記録

		承認	確認	作成
		年 月 日	年 月 日	年 月 日
施設名： _____				
教育訓練区分	☐ 内部 ☐ 外部			
教育訓練の種類	☐ 座学 ☐ 実地訓練			
教育訓練の内容				
教 材				
実施日時				
実施場所				
受講対象部門				
講 師				
受 講 者				
欠 席 者				
欠席者への処置 (追加研修等)	処置内容			
	実施日			
講師による総評 (研修内容の理解度等)	※受講者の理解度、教育中の質疑応答内容、教育内容(方法)の改善点等を記述する			
手順書等の変更の 必要性	否／要（要の詳細： _____ ）			

緊急事態訓練条件設定用マトリックス表

資料Ⅳ－3

出火時間	火災の検知手段	ごみピット	供給コンベア	破砕機	破砕物搬送コンベア		選別機	選別後コンベア	貯留設備
					下部	上部			
作業時間中	建物火災報知機				◎	◎			
	設備機器の検知器			○	◎	◎	○	○	○
	中央制御室 ITV/目視	◎	○	○	◎	◎	○	○	○
	施設職員	◎	○		◎	◎	○	○	○
休憩時間中	建物火災報知機	◎	○		◎	◎	○	○	
	設備機器の検知器	◎	○	○	◎	◎	○	○	○
	施設職員	◎	○						
勤務時間外	建物火災報知機	◎	○	○	◎	◎	○	○	◎
	設備機器の検知器	◎	○	○	◎	◎	○	○	◎
	警備会社警備員	◎	○						◎
	施設職員	◎	○						◎

◎：火災発生と被害のリスクが最も高い ○：次いでリスクが高い 無印：リスクがない訳ではないが可能性は低い

注記) 1. 黄色で示したごみピットと破砕物搬送コンベア及び貯留設備は、出火の可能性と火災被害の拡大の可能性が最も高い

2. あらましの火災拡大のパターンは以下の通り

- ①ごみピットから出火⇒消火散水するも効果なく、クレーン操作室、クレーン、建物等に延焼、被害が拡大
- ②破砕物搬送コンベアから出火⇒コンベアベルトに沿って火災が選別機、選別後のコンベアへと拡大
- ③バンカー等貯留設備から出火⇒バンカー上方のコンベアに燃え移り、次々と上方のコンベアに延焼

3. 訓練計画では、上表のリスクの高いパターンから選択して訓練条件を設定する

訓練条件の例：作業時間中に職員が巡回監視していて破砕物搬送コンベアからの出火を発見した

緊急事態対応訓練実施通知書

20**年**月**日

工場長 ** 太郎

以下の通り緊急事態への対応訓練を実施します。

実施日時

- ・平成**年**月**日（*） 午後 時 分 ～ 約時間
- ・当日は、ごみ投入を午後 時 分で終了し、破砕機停止後訓練を実施する。

実施対象者

全職員

実施内容

実施場所

1.

記入例

緊急事態対応訓練実施通知書

2012 年 4 月 1 日
工場長 ** 太郎

以下の通り緊急事態への対応訓練を実施します。

実施日時

- ・平成 24 年 5 月 6 日（*） 午後 3 時 ～ 約 2 時間
- ・当日は、ごみ投入を午後 2 時 30 分で終了し、破砕機停止後訓練を実施する。

実施対象者

全職員

実施内容

1. 破砕処理工場選別室からの出火に伴う緊急事態への対応訓練
 - ・ホースを進展しての放水模擬操作を行うが、放水は行わない
 - ・情報伝達、避難誘導を含む
 - ・動力系統、制御系統の操作は実施する
2. 放水訓練
 - ・上記 1 実施後、選別棟 1 階の屋内消火栓を使用して、放水訓練を実施する

実施場所

1. ** 工場全域（主に中央制御室と選別棟）

選別室火災訓練

火災事故情報伝達及び初期消火訓練次第（例）

実施予定：____年____月____日____時から

火災発生場所：選別室 2 階可燃コンベヤ

項目	情報伝達及び中央管制の行動内容	消火班行動内容
1 選別室火災発生 of 緊急通報を、****から電話連絡で受ける。 (中央管制) (開始時間__ : __)	(通報内容例) 『訓練』 『緊急通報。選別室 3 階可燃コンベヤからの火災を発見しました』 ☐ 正確に内容の聞き取りに努める。 (通報時間、情報内容、発信者、その他等をメモする。) 『_____ _____ _____]』 ☐ メモに基づき、全館放送を行う。 (放送内容例) 『訓練』 『ただいま、選別室 3 階可燃コンベヤで火災が発生しました。各班員は中央管制室に参集してください。参集に当たってはエレベータの使用を禁止します。また、見学者の方は、管理棟 3 階集会室へ避難してください。』	☆館内放送を受信した職員(自衛消防隊長、消火班員、避難誘導班員、設備班員)は中央管制に参集する。 (ステージ担当を除く。)
2 運転中断と本部設営準備。(運転係(中央管制))	☐ ごみ受入と設備運転を停止する。 ☐ 選別室、工場棟 1 階等監視カメラによる監視。 ☐ 白板を用意する。 ☐ 受信メモを連絡通報班に渡すと共に、自衛消防隊長(工場長)に報告する。	☐ 消火班員を現場へ派遣 ☐ 放水開始。(擬似)
3 事前命令の徹底(運転係(管制警戒班))	再徹底のため以下の放送を行う。 (放送内容例) 『訓練』 『現在選別で発生した火災に、コンベヤ消火設備での放水を開始しました。中央管制室に対策本部を設置します。ごみピットの職員は、工場棟 1 階の各設備を調査し、火災の発生の有無を対策本部まで連絡してください。設備班員は、高圧電源を遮断した後、工場棟 2 階以上の各設備の火災の発生の有無を確認し、対策本部まで連	

	絡してください。』	
4 各班	対策本部の運営と避難誘導を完了させる。(避難誘導班) ☐ 中央管制は、白板に記録する。	(1) 消火班長の下、消火作業に当る。(消火班) ☐ 消火班員の集結場所を指定する。 ☐ 消火器を集結させる。 ☐ 各要員は、各設備の火災発生有無を確認し、報告する。 ☐ 中央管制へ一報を入れる。 ☐ 見学者を集会室へ誘導する。(エレベータ使用不可)。完了後、中央管制へ連絡。 (2) 工事中断の指示を行うと共に、設備の保全措置等を取る。(設備班) ☐ 業者へ工事中断の指示をする。 ☐ 特高室のプラント動力電源を遮断する。 ☐ 水損防止のため、ブルーシート等を可燃コンベア下へ準備する。 ☐ 工場棟 2 階以上の各設備の火災発生有無を確認し、報告する。 ☐ 初期消火の支援を行う。
5 高圧電力遮断の報告と、屋内消火栓を使用した放水の開始	☐ プラント動力電源遮断の報告 (設備班) ☐ 報告を受け全館周知の実施 (中央管制) (放送内容例) 『訓練』 『ただいまプラント動力電源を遮断しました。屋内消火栓でのコンベアへの放水は可能となりました。』	☐ 最寄りの屋内消火栓からホースを延長しコンベアへ放水する。(消火班、模擬：ホースは伸展、放水はしない)
6 延焼拡大報告、応援要請を中央管制へ行う。(消火班)	(通報内容例) 『訓練』 『緊急通報。3 階可燃コンベアの火災は、2 階搬送コンベアへ延焼拡大中。煙が充満し作業困難になりつつあるので、(視界のあるうちに)撤収します。』 ☐ 自衛消防隊長へ報告 (中央管制)	
7 自衛消防隊長指示 (工場長)	現場からの報告を受け、自衛消防隊長は以下の指示を行う。 ☐ 119 番通報の実施 ☐ 全館放送 ☐ 選別室監視カメラによる監視継続 ☐ ごみ受入の中断 ☐ 上記の記録	☐ 消火班の撤収 ☐ 工場課への通報
8 全館放送の実施。(運転)	(放送内容例)	

係(中央管制)	『訓練』 『選別室火災は、2階搬送コンベヤへ延焼拡大中。 119番通報済み。消火班は直ちに撤収せよ。 またごみの受入は現時点をもって中断する。』	
9 各班	(1) 連絡通報班 ☐ I T Vによる計量ステージ監視の実施 ☐ 白板への記載 (2) 中央管制 ☐ 撤収引揚者の確認 (3) 設備班 ☐ 工場棟図面の準備 ☐ 撤収引揚者の確認	☐ 工場課への連絡（擬似） ☐ ごみの受入を中断する。（計量担当） ☐ ごみの投入を中断し、車両を退避させる。（ステージ担当） ☐ 設備一括停止（擬似） ☐ 機器用電源の遮断 ☐ 消防隊到着時、状況説明及び火災現場への誘導実施（擬似）
10 情報伝達訓練終了	引き続き、選別室で放水訓練を実施する。	
11 訓練終了・講評：自衛消防隊長：消防署（終了予定間__：__）	☐ 安全最優先（自衛消防隊長） ☐ 情報収集・伝達の重要性（→指揮命令の根幹） ☐ 情報の一元管理の徹底の必要性 <訓練終了後の確認> ☐ 屋内消火栓ポンプ停止 ☐ 施設	

以上

火災事故情報伝達及び初期消火訓練次第

実施予定：____年____月____日____時から

火災発生場所：_____

項目	情報伝達及び中央管制の行動内容	消火班行動内容
1 選別室火災発生時の緊急通報を、****から電話連絡で受ける。 (中央管制) (開始時間__ : __)	(通報内容例) 『訓練』 『緊急通報。****からの火災を発見しました』 ☐ 正確に内容の聞き取りに努める。 (通報時間、情報内容、発信者、その他等をメモする。) 『_____ _____]』 ☐ メモに基づき、全館放送を行う。 (放送内容例) 『訓練』 『ただいま、****で火災が発生しました。各班員は中央管制室に参集してください。 参集に当たってはエレベータの使用を禁止します。 また、見学者の方は、****へ避難してください。』	☆館内放送を受信した職員(自衛消防隊長、消火班員、避難誘導班員、設備班員)は中央管制に参集する。 (投入ステージ担当を除く。)
2 運転中断と本部設営準備。(運転係(中央管制))	☐ ****等の監視カメラによる監視。 ☐ 白板を用意する。 ☐ 受信メモを連絡通報班に渡すと共に、自衛消防隊長(工場長)に報告する。	☐ 消火班員を現場へ派遣 ☐ 放水開始。(擬似)
3 事前命令の徹底(運転係(管制警戒班))	再徹底のため以下の放送を行う。 (放送内容例) 『訓練』 『現在***で発生した火災に、コンベヤ消火設備での放水を開始しました。中央管制室に対策本部を設置します。 ごみピットの職員は、****の各設備を調査し、火災の発生の有無を対策本部まで連絡してください。 設備班員は、高圧電源を遮断した後、****の各設備の火災の発生の有無を確認し、対策本部まで連絡してください。』	

4 各班	対策本部の運営と避難誘導を完了させる。(避難誘導班) ☐ 中央管制は、白板に記録する。	(1) 消火班長の下、消火作業に当る。(消火班) ☐ 消火班員の集結場所を指定する。 ☐ 消火器を集結させる。 ☐ 各要員は、各設備の火災発生有無を確認し、報告する。 ☐ 中央管制へ一報を入れる。 ☐ 見学者を***へ誘導する。(エレベータ使用不可)。完了後、中央管制へ連絡。 (2) 工事中断の指示を行うと共に、設備の保全措置等を取る。(設備班) ☐ 業者へ工事中断の指示をする。 ☐ 特高室のプラント動力電源を遮断する。 ☐ 水損防止のため、ブルーシート等を可燃コンベア下へ準備する。 ☐ ***の各設備の火災発生有無を確認し、報告する。 ☐ 初期消火の支援を行う。
5 高圧電力遮断の報告と、屋内消火栓を使用した放水の開始	☐ プラント動力電源遮断の報告(設備班) ☐ 報告を受け全館周知の実施(中央管制) (放送内容例) 『訓練』 『ただいまプラント動力電源を遮断しました。屋内消火栓でのコンベアへの放水は可能となりました。』	☐ 最寄りの屋内消火栓からホースを延長しコンベアへ放水する。(消火班、模擬：ホースは伸展、放水はしない)
6 延焼拡大報告、応援要請を中央管制へ行う。(消火班)	(通報内容例) 『訓練』 『緊急通報。***の火災は、***へ延焼拡大中。煙が充満し作業困難になりつつあるので、(視界のあるうちに)撤収します。』 ☐ 自衛消防隊長へ報告(中央管制)	
7 自衛消防隊長指示(工場長)	現場からの報告を受け、自衛消防隊長は以下の指示を行う。 ☐ 119番通報の実施 ☐ 全館放送 ☐ 選別室監視カメラによる監視継続 ☐ ごみ受入の中断 ☐ 上記の記録	☐ 消火班の撤収 ☐ 工場課への通報
8 全館放送の実施。(運転係(中央管制))	(放送内容例) 『訓練』 『***火災は、***へ延焼拡	

	大中。 1 1 9 番通報済み。消火班は直ちに撤収せよ。 またごみの受入は現時点をもって中断する。』	
9 各班	(1) 連絡通報班 ☐ I T Vによる計量ステージ監視の実施 ☐ 白板への記載 (2) 中央管制 ☐ 撤収引揚者の確認 (3) 設備班 ☐ 工場棟図面の準備 ☐ 撤収引揚者の確認	☐ 工場課への連絡（擬似） ☐ ごみの受入を中断する。（計量担当） ☐ ごみの投入を中断し、車両を退避させる。（ステージ担当） ☐ 設備一括停止（擬似） ☐ 機器用電源の遮断 ☐ 消防隊到着時、状況説明及び火災現場への誘導実施（擬似）
1 0 情報伝達訓練終了	引き続き、* * * で放水訓練を実施する。	
1 1 訓練終了・講評：自衛消防隊長：消防署（終了予定間__：__）	☐ 安全最優先（自衛消防隊長） ☐ 情報収集・伝達の重要性（→指揮命令の根幹） ☐ 情報の一元管理の徹底の必要性 <訓練終了後の確認> ☐ 屋内消火栓ポンプ停止 ☐ 施設	

以上

書式

環境教育・訓練記録

局室名	
施設名	
作成年月日	平成 年 月 日
研修担当者	

教育・訓練 (研修) の名称	ごみ選別室火災消防訓練／ピット火災消防訓練／一般火災消防訓練				
	実地訓練／座学の別		実地 ／ 座学		
実施年月日・時間	年	月	日	AM・PM	時 分～ 時 分
実施場所					
講師 (所属・氏名)	工場				
	消防				
教育・訓練(研修) の内容					
受講者氏名					
未受講者					
未受講者への対応					
受講者の感想等					
訓練結果による 火災時対応フロー 等の改訂	不要／必要(改訂内容:)				

例示

環境教育・訓練記録 (コンベヤ火災の例)

局室名	環境局
施設名	
作成年月日	平成 年 月 日
研修担当者	

教育・訓練 (研修) の名称	ごみ選別室火災消防訓練／ピット火災消防訓練／一般火災消防訓練				
	実地訓練／座学の別		実地 ／ 座学		
実施年月日・時間	年	月	日	AM・PM	時 分～ 時 分
実施場所					
講師 (所属・氏名)	工場				
	消防				
教育・訓練(研修) の内容 (右記は例示)	(1) コンベヤ火災の実態について (2) コンベヤ消火設備について ア 設備の概要 イ 発生覚知から消火までの手順について (3) 建築消防設備について ア 屋内消火栓、消火器の設置状況 イ 消防隊用設備の設置状況と使用目的 ウ 消防設備の取り扱いについて (4) 屋内消火栓の取扱(実地訓練) ア 屋内消火栓による放水訓練 イ 消火栓取扱注意事項(復旧方法等)				
受講者氏名					
未受講者					
未受講者への対応					
受講者の感想等					
訓練結果による 火災時対応フロー 等の改訂	不要／必要(改訂内容:)				

例示

環境教育・訓練記録
(ピット火災の例)

局室名	環境局
施設名	
作成年月日	平成 年 月 日
研修担当者	

教育・訓練 (研修)の名称	ごみ選別室火災消防訓練／ピット火災消防訓練／一般火災消防訓練				
	実地訓練／座学の別		実地 ／ 座学		
実施年月日・時間	年	月	日	AM・PM	時 分～ 時 分
実施場所					
講師 (所属・氏名)	工場				
	消防				
教育・訓練(研修) の内容 (右記は例示)	(1) ピット火災の実態について (2) ピット部消火設備について ア 設備の概要 イ 発生覚知から消火までの手順について (3) 建築消防設備について ア 屋内消火栓、消火器の設置状況 イ 消防隊用設備の設置状況と使用目的 ウ 消防設備の取り扱いについて (4) 屋内消火栓の取扱(実地訓練) ア 屋内消火栓による放水訓練 イ 消火栓取扱注意事項(復旧方法等)				
受講者氏名					
未受講者					
未受講者への対応					
受講者の感想等					
訓練結果による 火災時対応フロー 等の改訂	不要／必要(改訂内容:)				

对象：

IV-17

資格/力量保有者リスト

種別： 屋内消火栓の使用

対象： 消火班及び設備班全員

[illegible]

時間	運転委託会社（以下会社）				**市（以下市）		
【事前全館放送】							（事前放送：事務室内非常用マイク使用）
	（役割メンバー者）			（役割メンバー者）			（（放送前「一斉放送」ボタンを押し、マイクの横スイッチを押しながら放送する。））
8時28分				2	管理係長		「本日、午前8時30分から**工場火災訓練を実施します。事前の指示を受けた職員、運転委託職員は訓練に参加願います。」（2回繰り返す）
				（8：28）			
【火種投入】							（（放送終了後「放送復旧」ボタンを押す。））
8時29分	B	会社	（（5F投入ホッパステージからビット内に赤いダンボール（火種）を投げ入れる				
【訓練開始宣言】					（訓練開始宣言）		
8時30分	C	会社	（（中央管制室内にて口頭で訓練開始を宣言する））	1	工場長		「訓練、訓練 只今から消防訓練を開始します。」
				（8：30）			【事務室内で口頭】
【火災発見→班長連絡】			（（ごみクレーン操作中、クレーン員がごみビット内で火災を発見。中央管制室（TEL** **）の班長へ連絡する））				
	S	会社	「訓練、訓練(S)**です。ごみビット内で火災を発見しました。放水銃により初期消火を開始します」				
	C	会社	「訓練、訓練 了解しました。」				
	S	会社	（（クレーンを手動で退避位置まで移動し、放水銃により放水を開始する。））				
【出火確認、全館放送】							
	C	会社	（（監視モニターで出火を確認し、火災の発生を全館放送する。				
			この時、中央管制室防災監視盤のマイクを利用する。））				
			（（放送前「一斉放送」ボタンを押し、マイクの横スイッチを押しながら放送する。））				
8時31分	C	会社	「訓練、訓練 中央管制室より連絡します。只今ごみビット内で火災が発生しています」（2回繰り返す）				
			（（放送終了後「放送復旧」ボタンを押す。））				
	会社全員		（（会社全員は、全館放送を受け、中央管制室へ集合する。））				
【班長→工場長へ連絡】							
	C	会社	「訓練、訓練 只今ごみビット内で火災が発生しています。				
			放水銃にて初期消火中です。」		管理係長		「訓練、訓練 了解しました。引き続き消火活動を行ってください」
							（（管理係長は、工場長に火災の発生状況と消火指示したことを報告する。））
							（（工場長は、管理係長、技術係長、運転計画係長を招集し、指示する。））
	C	会社	「訓練、訓練 了解しました。」		工場長		（（工場長は、自衛隊消防隊を編成し中央管制室に本部を設置する。））
					工場長		「訓練、訓練 只今ごみビット内で火災が発生しました。
							技術係長は火災の状況を確認してください。
【班長→会社所長へ報告】							運転計画係長は見学者の避難誘導の準備をし、管理係長は全館放してください。
	C	会社	「訓練、訓練 **市より、初期消火体制に入るよう指示がありました。」				自衛消防隊として活動開始する。本部は中央管制室に設置する。各自役割表に基づき役割に従い行動してください
	会社所長	会社所長	「訓練、訓練 了解しました。」				→中央管制室に移動。
				2. 3. 4	管理・運転計画・技術		「訓練、訓練 了解しました。」
8時33分			（（会社所長は、自衛消防組織各係の所定行動を指示する。））				（（事務室内非常用マイク使用））（（放送前「一斉放送」ボタンを押し、マイクの横スイッチを押しながら放送する。放送終了後「放送復旧」ボタンを押す。））
	会社所長	会社所長	「訓練、訓練 会社は、自衛消防組織編成・役割に従い行動してください。」	2	管理係長		「訓練、訓練 只今ごみビット内で火災が発生し、初期消火中です。
	会社全員		「訓練、訓練 了解しました。」				計量室は指示があるまでプラットフォームへの車両の進入を禁止してください。
							見学者の方は案内職員の指示に従ってください。
	会社所長	会社所長	「訓練、訓練 各自の任務についてください。」				エレベーターは使用禁止とします。以上。」
			副隊長　　：	4	技術係長		技術係長は、消火の係の(9)にクレーン操作室に急行し、火災の状況を
			指示通報係　：				報告するように指示する。
			消火係　　：				
			運転操作係　：	9	市		クレーン室へ急行した消火係の(9)は、PHSから現場の状況を技術係長
			クレーン員　：				へ連絡する。
			防護安全係　：				
【火災延焼】			非常搬出係　：	9	市		「訓練、訓練 ビット内は照明や換気が停止し煙に覆われており、火災は延焼拡大の恐れがあります。」
8時36分			救護係　　：	（8：36）			
				4	技術係長		「訓練、訓練 了解しました。」
	C	会社	「訓練、訓練(S)は、クレーン操作室で初期消火の応援をしてください。				
	F, G		(F)、(G)は、トップライトを開放してください。」				
	対象者		「訓練、訓練 了解しました。」				（（技術係長・工場長は監視モニターを確認し、管理係長は工場長の指示を受け119番通報を管理係へ指示））
				4	技術係長		「訓練、訓練 ビット内は煙に覆われ消火は不可能。火災は延焼拡大の恐れがあるため119番通報が必要です。」
				1	工場長		「訓練、訓練 了解しました。」
【119番通報】			（（ *模擬通報 ））				「119番通報して下さい。」
8時37分	C	会社	「訓練、訓練 火事です。こちらは住所** **の**市**工場です。				
	（指示通報係）	（当直班長）	工場棟のごみビット内から出火しましたので消火願います。				
			けが人は今のところいない模様です。				
			場所は、国道*号線**交差点を北進、左手方向に高い煙突が立っているところ				
			通報者は、〇〇〇〇〇　、電話番号は**-* **-* **です。」				
							（（運転計画係長は、5階を見学中の見学者を避難誘導図により西側階段及び東側階段で屋外見学者
							駐車場へ避難させるよう避難誘導係に指示する。））
							（（見学者を管理棟1階玄関前駐車場に搬送したら、本部の運転計画係長へ連絡する。））
							（（技術係長は、消火係へごみビットへ向かうように指示する。
							また、安全防護係に会社と協力して2F、5Fの防火扉、防火シャッターの閉止を行うよう指示する。））
【自衛消防組織活動】				3	運転計画係長		「訓練、訓練 火災延焼の恐れあり119番通報しました。
							見学者の**30名を全員管理棟1階玄関前見学者駐車場に誘導して下さい。」
	B	会社	（（消防説明用の工場平面図等資料を用意する。））	16	市		「訓練、訓練 了解しました。」
	A, B	会社所長・会社	（（自衛消防隊本部設置後、本部に加わる。））				
			①災害発生時周知の指示	2	技術係長		「訓練、訓練 火災延焼の恐れあり119番通報しました。
			②自衛消防隊編成、及び本部の設置指揮				消火係はごみビットに向かい到着後指示あるまで待機して下さい。
			③自衛消防組織各係の所定の行動支持				安全防護係は会社と協力して2F、5Fの防火扉、防火シャッターの閉止を行ってください。」
			④119番通報の指示	9. 10. 11. 12. 13. 14	対象者		「訓練、訓練 了解しました。」
			⑤消防隊への情報提供				
							（（中央管制室防災監視盤マイクを使用する。））（（放送前「一斉放送」ボタンを押しながら
							マイクの横スイッチを押し放送する。放送終了後「放送復旧」ボタンを押す。））
8時39分				2	管理係長		「訓練、訓練 只今ごみビット内火災は延焼中です。火災延焼の恐れあり119番通報しました。
				（8：39）			<u>只今から中央管制室に自衛消防隊・本部を設置しました。</u>
							今後の火災に関する職員は初期対応の手順により行動して下さい。
							見学者の方は慌てず職員の指示に従い行動してください。」
							今後の火災に関する情報、連絡は全て内線** **とする。」
							（（工場長は、火災の状況を施設課長へ報告するよう指示通報係へ指示する。（報告様式1））
							<u>本部→事務室：指示通報係（内** **）</u>
	会社所長	会社所長	「訓練、訓練 （C)は、焼却炉の操作と、プラント全体の監視をして下さい」				
	C	会社所長	「訓練、訓練 了解しました。」				
			（（焼却炉操作と、プラント全体監視を行う。				
			(S)、引き続きクレーン操作室にて放水銃にて初期消火活動をする。））				

時間	運転委託会社（以下会社）					＊ ＊ 市（以下市）
	C	会社	「訓練、訓練 防護安全係員は防火シャッター、防火扉を閉止して下さい。」			
	I. J. K	会社	「訓練、訓練 了解しました。」			
	(14, 15)	(市・市)	((防護安全係員は、＊ ＊ 市の防火安全係、14, 15と協力して2F, 5Fの防火扉、防火シャッターの閉止を行う。))			
			((防火扉配置図、防火シャッター配置図参照。))			
			((また、防護安全係員は、火災エリア近傍に可燃物、危険物がないか見学者が残っていないか点検し、あれば除去する。避難者が残っている場合は本部に連絡する。))			
	C	会社	「訓練、訓練 (L) は、非常持ち出し品の搬送と管理をして下さい。」			
	L	会社	「訓練、訓練 了解しました。」			
			((会社事務所から重要書類等を外部の風上に持ち出し管理する。))			
	C	会社	((焼却炉の操作指示をする。))			
			①ホッパーステージ換気装置が起動中であれば停止			
			②建築ファン停止			
			・ ごみ汚水ろ過器室 (SF-132、EF-156)			
			・ ごみ汚水送水ポンプ室 (SF-103、EF-103)			
			・ 脱硝設備室 (SF-104、EF-104)			
			・ ホッパーステージ換気装置のﾀﾞﾝﾌﾟ ｾﾞｯﾌﾟ 閉止			
			③焼却炉降温、埋火処理			
			④タービン停止処理			
			⑤溶融設備停止処理			
			⑥電力削減対象ファン停止			
				17	市	(((17) は、消防車に見立てたワゴン車を運転してトラップへ。))
【公設消防隊到着】						(((23) は、公設消防隊到着を中央管制室 (TEL ＊ ＊ ＊) にへ報告する。))
8時45分						(((24) は、公設消防隊のため、プラットホーム出入口のシャッターを開放する。))
				23	市	「訓練、訓練 公設消防隊が到着しました。プラットホーム監視室まで誘導して状況を説明しました。」
				(8:45)		
				1	工場長	「訓練、訓練 了解しました。」
				23	市	((公設消防隊到着を、本部へ報告する。))
				(8:46)		「訓練、訓練 公設消防隊が到着し、消火活動が開始されました。」
				1	工場長	「訓練、訓練 了解しました。」
【負傷者応援救助】						((5階を見学中の見学者を避難誘導図により西側階段及び東側階段で屋外へ
8時47分						避難させる。その細西側階段から避難した見学者の1人が階段で転倒し、
						左足首を捻挫してしまい、応急手当が必要となった。中央本部の運転計画係長に連絡する。))
						((運転計画係長は、管理係長に報告する。))
				16	市	「訓練、訓練 只今見学者の松森町内30名を無事全員管理棟1階玄関前駐車場に誘導しました。
						「避難誘導中に見学者の児童1名が階段で転び、左足首を捻挫した模様です。
				(8:47)		応急手当をお願いします。」
				3	運転計画係長	「訓練、訓練 了解しました。」
						((運転計画係長は、管理棟待機の救護係(18)：内線2204へ指示をする。))
				3	運転計画係長	「訓練、訓練 見学者の児童1名が避難中に階段で転び左足首を捻挫した模様です。
						管理棟1階の玄関前駐車場へ避難していますので、応急手当をお願いします。」
				16	市	「訓練、訓練 了解しました。」
						((指示を受けた(18)は、(19) (検査係)に連絡、救急箱持参で玄関前駐車場へ
						移動し応急手当を行う。))
						(((18)は、(19)に連絡する。))
				18	市	「訓練、訓練 見学者が避難中に階段で転び左足首を捻挫した模様です。
						管理棟1階の玄関前見学者駐車場へ避難していますので、至急移動してください。」
				19	市 (検査係)	「訓練、訓練 了解しました。」
				16 18	市 市	<u> (((けが) 人の応急手当の報告を、運転計画係長へ工場長へ報告する。))</u>
						<u> 「訓練、訓練 見学者の児童1名の捻挫の応急手当は、無事完了しました。」</u>
				3	運転計画係長	<u> 「訓練、訓練 了解しました。」</u>
				3	運転計画係長	<u> 「訓練、訓練 見学者の児童1名の捻挫の応急手当は、無事完了しました。」</u>
				1	工場長	<u> 「訓練、訓練 了解しました。」</u>
【鎮火確認】						(((9) 松澤は、鎮火を中央管制室 (TEL3202) 内の工場長へ報告する。))
8時53分				9	市	「訓練、訓練 公設消防の消火活動により、火災は鎮火した模様です。現在、消防に
						より確認が行われています。」
				1	工場長	「訓練、訓練 了解しました。」
【鎮火宣言】						(((9) 松澤は、公設消防の鎮火宣言を中央管制室 (TEL3202) の工場長へ報告する。))
8時58分				9	市	「訓練、訓練 8時58分、公設消防から鎮火宣言が出されました。」
					工場長	「訓練、訓練 了解しました。」
【訓練終了宣言】						
8時59分				1	工場長	(((1：工場長は、中央管制室内にて訓練終了を宣言する。))
				(8:59)		「訓練、訓練 火災は鎮火しました。これをもちまして消防訓練を終了します。」
					【本庁連絡】	
					8時59分	工場長は、火災の鎮火を施設課長へ連絡するよう指示通報係へ指示する。(様式2)
						<u> 本部→事務室・指示通報係 (内2203)</u>
【終了全館放送】						(((中央管制室防災監視盤のマイクを使用する。))
						(((放送前「一斉放送」ボタンを押し、マイクの横スイッチを押しながら放送する。))
9時00分				2	管理係長	「訓練、訓練、連絡いたします。火災は鎮火しました。これをもちまして松森工場消防訓練を」
				(9:00)		終了いたします。」 【2回繰り返す】
						「なお、引き続き放水訓練を工場棟南側駐車場前で行いますので、指定された職員並びに
						業務に支障にない職員の方は参集願います。」
						(((放送終了後「放送復旧」ボタンを押す))